

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 5 区分
【発行日】令和 6 年 11 月 21 日(2024.11.21)

【公開番号】特開 2023-81663(P2023-81663A)
【公開日】令和 5 年 6 月 13 日(2023.6.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-109
【出願番号】特願 2021-195555(P2021-195555)
【国際特許分類】

A 4 1 D 13/11(2006.01)

10

A 6 2 B 18/08(2006.01)

F 1 6 B 5/07(2006.01)

【F I】

A 4 1 D 13/11 Z

A 6 2 B 18/08 Z

F 1 6 B 5/07 H

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 11 月 13 日(2024.11.13)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フック面を有する面ファスナーより成る一対の片が、フック面の裏側の面を向き合わせた状態で互いに連結され、各片の間の間隙の中またはいずれか一方の片のフック面に所定の物品が保持される、
ことを特徴とする物品保持具。

30

【請求項 2】

衛生用マスクのマスク本体に着脱可能に取り付けられる補助具であって、
フック面を有する短冊状の面ファスナーより成る一対の片と、これらの片のフック面への着脱が可能で柔軟性を有するカバーシートと、可撓性を有する線状体とを備え、
前記一対の片はフック面の裏側の面を向き合わせた状態にされると共に端縁部のうちの少なくとも長さ方向に沿う部分で互いに連結され、各片の間の間隙に前記線状体が保持され、

前記カバー体は、1つの片のフック面の全体を被覆可能な大きさのものであって、前記一対の片のいずれか一方のフック面に取り付けられる、
ことを特徴とするマスク補助具。

40

【請求項 3】

衛生用マスクのマスク本体に着脱可能に取り付けられる補助具であって、
フック面を有する短冊状の面ファスナーと、柔軟性を有するカバーシートと、可撓性を有する線状体とを備え、
前記カバーシートは、前記面ファスナーのフック面の裏側の面に向き合わせた状態にされると共に端縁部のうちの少なくとも長さ方向に沿う部分で面ファスナーに連結され、当該面ファスナーと当該カバーシートとの間の間隙に前記線状体が保持される、
ことを特徴とするマスク補助具。

【請求項 4】

請求項 2 または 3 に記載されたマスク補助具と、このマスク補助具が取り付けられる衛生

50

用マスクの左右の耳掛け紐に組み込まれる一対の紐調整具との組み合わせであって、

前記一対の紐調整具の各々は、柔軟性を有すると共にフック面を有する面ファスナーが一体に設けられた紐状部材を主部とし、前記衛生用マスクのマスク本体の当該紐調整具が組み込まれる側の端縁部の上端部および下端部にそれぞれ一端部が連結された２本の紐の各々の開放端部に前記面ファスナーのフック面を連結することによって、前記２本の紐と共に前記衛生用マスクの耳掛け紐を形成する、
衛生用マスクの補助具セット。

【請求項５】

請求項２または３に記載されたマスク補助具と、このマスク補助具が取り付けられる衛生用マスクの左右の耳掛け紐に組み込まれる一対の紐調整具との組み合わせであって、
前記一対の紐調整具の各々は、柔軟性を有すると共に両端部がそれぞれ２本に分かれ、それら分岐した部分にフック面を有する面ファスナーが一体に設けられた紐状部材を主部とし、前記衛生用マスクのマスク本体の当該紐調整具が組み込まれる側の端縁部の上端部および下端部にそれぞれ一端部が連結された２本の紐の各々の開放端部を前記紐状部材の各端部の２つの面ファスナーの間に挟み込んでそれぞれの面ファスナーのフック面に連結することによって、前記２本の紐と共に前記衛生用マスクの耳掛け紐を形成する、
衛生用マスクの補助具セット。

10

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３０

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３０】

衛生用マスクの耳掛け紐として通常使用されるゴム紐や不織布の紐の表面も、ループ面として機能するので、上記の２本の紐の開放端部を紐状部材の面ファスナーに直接に連結することができる。

さらに、本発明では、上記一対の紐調整具を、両端部がそれぞれ２本に分かれ、それら分岐した部分にフック面を有する面ファスナーが一体に設けられた紐状部材を主部とする形態にすることもできる。そうすると、衛生用マスクのマスク本体の上端部のみに連結された紐および下端部のみに連結された紐の各々の開放端部を前記紐状部材の端部の２つの面ファスナーの間にそれぞれ挟み込んで前記フック面に連結することによって、耳掛け紐を形成することができる。

30

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００３１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００３１】

いずれの実施形態でも、紐調整具が組み込まれた新たな耳掛け紐は元の耳掛け紐より長くなるので、通気スペースを設けるためにマスク補助具を顔面から離れる方向に湾曲させた場合でも、耳掛け紐に過度の引張り力が働くのを防いで利用者の耳に負担がかかるのを防ぐことができる。

40